

TTC 山行実施記録表(提案)

2013年8月17日 報告者:川越茂人(1/2)

山行名	北ア槍ヶ岳～北穂高岳縦走 [3,180m/3106m 長野県]											
実施日	2013年8月10日(土)～13日(火)			3泊4日	マイカー利用							
天候/参加人員	天候:8/10 晴れ、8/11 晴れ、8/12 晴れ、8/13 晴れ レベル:★★★★ 参加者4名											
参加メンバーと担当	CL/計画/ドライバ`副:、 SL/写真/ドライバ`正:、 会計:、 救護:、 氏名削除 男性:2名、女性2名											
費用 ¥38,500- カンパ金 ¥750-	内訳:マイバ使用料(@10×480km×1台)¥4,800、ドライバ`謝礼(@5,000×2)¥10,000 燃料代(@160×480/8)¥9,600、高速道路料金(往路@2,000+帰路@2,750)¥4,750 タクシー(@4,000×2)¥8,000、駐車料(@500×4日)¥2,000/一人当たり交通費@9,788 宿泊槍沢ロッジ(@9,000×4)¥36,000、宿泊南岳小屋(@9,000×4)¥36,000、 宿泊潤沢ヒュッテ(@9,500×4)¥38,000 入浴料(@700×4)¥2,800、通信費 ¥1,000、ガスカートリッジ代 ¥300、 支出合計¥153,250- 集金(@38,500×4)¥154,000- 差額¥750-を TTCカンパ金とする。											
	歩行時間				休憩時間				行動時間			
	8/10	8/11	8/12	8/13	8/10	8/11	8/12	8/13	8/10	8/11	8/12	8/13
ガイドブック	4:50	9:20	5:25	5:10	—	—	—	—	—	—	—	—
計画	4:50	9:30	6:05	5:30	1:10	2:00	1:55	1:10	6:00	11:30	8:00	6:40
実行	4:16	9:41	7:08	5:05	1:10	1:42	1:24	1:03	5:26	11:23	8:32	6:08
実行コースタイム記録												
◆8/10(土)												
0:40 0:10 1:05 朝食 1:00 0:20 鷹尾===相模湖 IC===談合坂 SA===諏訪湖 SA===松本 IC===沢渡===タクシー=== 3:30 4:10 4:20~4:40 5:45~6:15 7:15~7:25 0:47 0:51 1:02 昼食 0:51 0:45 バスターミナル—明神—徳沢—横尾—(1705地点)—槍沢ロッジ(泊) 7:45~8:00 8:47~57 9:48~58 11:00~40 12:31~41 13:26												
◆8/11(日)												
1:05 0:55 0:10 0:50 1:08 1:05 0:38 槍沢ロッジ—ババ平—(2040)—大曲—(大岩)—天狗原分岐—(2550)—殺生ヒュッテ—槍ヶ岳山荘— 4:25 5:30~35 6:30~6:40 6:50~55 7:45~50 8:58~9:10 10:15~22 (空身)0:47 0:55 0:40 0:15 1:05 0:08 —槍ヶ岳—槍ヶ岳山荘—大喰岳—中岳—水場—南岳—南岳小屋(泊) 11:00~05 11:52~12:10 13:05~10 13:50~14:00 14:15~25 15:30~40 15:48												
◆8/12(月)												
0:57 0:53 1:55 0:28 昼食 0:50 0:43 0:22 1:00 南岳小屋—最低コル前—長谷川ピーク—(北穂手前)—北穂高北峰—(2820)—(2665)—(2565)— 6:08 7:05~10 8:03~10 10:05~10 10:38~11:30 12:20~25 13:08~13 13:35~40 —潤沢ヒュッテ(泊) 14:40												
◆8/13(火)												
1:18 0:58 1:06 0:50 昼食 0:53 0:25 潤沢ヒュッテ—本谷橋—横尾—徳沢—明神—上高地バスターミナル==(タクシー)== 6:00 7:18~30 8:28~40 9:46~10:00 10:50~11:15 12:08~12:20 1:00 1:52 1:30 1:25 0:15 沢渡===梓湖畔の湯===松本 IC===双葉 SA===相模湖 IC===鷹尾===厚木市内各所 12:45 ~ 13:45 15:37~50 17:20 18:45 19:00												
概要・特記事項・反省事項等												
◆8/10 鷹尾でKTさんの車に乗り換え定刻に出発。予報では連日晴れで雨の心配はほとんどなかった。しかし、私は前日仕事で帰りが遅く1時間20分しか眠れなかった。ドライバーのKTさんの言葉に甘えて諏訪湖まで助手席で熟睡していました。道路は夏休みの為に多少の渋滞も覚悟していたが予定より55分も早く沢渡に到着しました。梓駐車場ではタクシーが数台客を待っており、それに乗り込んだ。運転手は我々の下山が8/13と知るとその日は混むのでその時はここへ電話するようにとカードを渡された。上高地では用意した登山届をポストに投函し出発。ベテラン揃いの為、準備等も早く1.5時間早く出発できた。												

快調に飛ばしながら槍沢ロッジへ向かう。横尾では長野県警山岳情報のヘルメット着用のポスターが目 (2/2) に留まった。実際に若い人や団体の着用が多かった。またレンタルも行なっていた。横尾から先は、私にとっては初めてのコースでした。槍沢ロッジには 2 時間早く到着した。部屋は大部屋の 2 階でハシゴを使用した。夕飯(5:45)まで間があるので全員生ビールで乾杯。ロッジには風呂があったので入ってみた。男女別で男湯には2~3人用の浴槽が2つあり、湯の量が豊富なのでびっくりした。食後、19 時には自分は就寝した。他のメンバーは 21 時頃に就寝。

#### ◆8/11

目覚ましは 3:30 のセットだったが早く目が覚め、外へ出てみると満点の星空、その時流れ星も見えた。昨夜もらった弁当を食べ出発の準備。セルフではあるがモーニングコーヒーが 100 円で飲めた。これがおいしかった。

4:25 にヘッドラップを装着し出発。今日はロングコース。ババ平キャンプ場でWEさんが知り合いと偶然に会った。聞くとところによるとトレーニング中に表尾根で知り合った人が、同じ槍沢に行くことを聞いていたとのこと。前方に雪渓が見えてきた。大曲周辺に雪渓有りのネットでの情報があった。雪渓の為に迂回コースになっていたが、予定の時間を過ぎてもなかなか大曲に着かない。予定よりかなり遅れているのか? どうしてだろうと思いつつ大岩で休憩。大岩出発してから 10 分後、天狗原分岐に到着。大曲の道標を見落していたことに気がついた。

突然、槍沢の前方にそびえ立つ槍ヶ岳が目に入った。間近に見るのは初めて。迫力を感じた。周辺はお花畑、女性達から花の名前を教えてもらった。シナノキンバイ、ハクサンフウロ、ハクサンイチゲ、イワギキョウ、イワツメグサ等があった。段々急になる。殺生ヒュッテまで来た。槍ヶ岳山荘までの登山道は更にガラガラの岩礫の登りで、なかなか進まない。

それでも槍ヶ岳山荘に 25 分早く到着した。他のメンバーは過去に登っている為、私一人が山頂へ向かった。山頂までの行列が見えた。登りに 38 分かかった。山頂は狭いので写真を撮り 5 分後に下山開始、ヘルメットを付けた 10 人程度の団体が前を行くがなかなか進まない。下山に 47 分掛かった。

槍ヶ岳山荘へ戻るのに大変時間がかかったがメンバーに暖かく迎えてもらい、急いで昼食を済ませた。槍ヶ岳山荘の出発は 20 分早い 12:10 でした。大喰岳、中岳と左手に常念岳や大天井岳を見ながら順調に進んだ。中岳を出たのは 14:00、南岳小屋には 3 時過ぎには着くと思ったのが大きな勘違いであった。途中ガスでお湯を沸かしお茶を飲んだり、ゆったりと進んだ。しかし次は南岳と思ったピークがそうではなく、期待を持たせた分疲れも大きかったようです。結局南岳小屋に着いたのは 15:48 でした。間違えた原因は中岳から 1 時間 30 分掛かるところを 1 時間 10 分と見誤ってしまったことが原因でした(計画書の記載で中岳と南岳に 10 分のズレもあった)。

小屋到着時にミネラルウォーターを一人 1 本渡された。サービスがいいねと感心していたら、トイレ用の水しかないことが分かった。天水 1L100 円だった。夕食までの間にビールで乾杯したが、WE さんは小さい缶ビールであった。この時は非常に疲れていたとのことであった。部屋は 6 人部屋で我々と若い二人連れであった。寝床は昨日よりも少しゆったりしていた。夕日と朝日を見た。大キレットを見に行ったら目の前に北穂高岳が見えた。19 時 床に着いた。

#### ◆8/12

4 時過ぎに起床。日の出を見て、5:30 から朝食。出発を遅らせたが、結局 6:08 には出発できた。高台に登り北穂高岳と大キレットを一望しながら、ヨシ行くぞ!! と気合を入れる。最初の下りと最後の登りが特に危険であることを伝えた。急な下りをクサリやハシゴに掴まり下りた。やせた岩稜の尾根を渡る。途中、追い越した人で単独の年輩の人がキレット越えをしていた。見るからに危なげそうであった。

我々も長谷川ピークを過ぎた頃から疲れが出始めた。KTさんが息切れするようになったので、先頭は WE さんをお願いし、私は最後尾に行くことにした。北穂高小屋までの登りはクサリやハシゴが多く、また落石も発生しやすい場所であった。自分も注意していたが、脚に力が入った時に靴底の石が転がり落石となった。幸いに何も起こらなかったが、今度また来る時があったらヘルメットは持て来た方が良かった。

北穂高小屋によやくたどり着いた。メンバーと握手してお互い喜びを分かちあった。ここでゆっくりと昼食を摂り、コーヒーブレイクし、また、北穂高山頂では記念写真を撮った。涸沢まではクサリやハシゴのある長い下りが続いた。ガレでいるので慎重に、時々呼吸を整えながら涸沢ヒュッテへ向かった。涸沢ヒュッテには 14:40 と予定より 40 分遅かったが 3 時前であり、余裕であった。

涸沢ヒュッテでは宿泊手続きを済ませ別館の部屋へ行くと貸切状態であった。布団も一人 1 枚で今回一番ゆつたりのスペースでした。展望の良い小屋のデッキに出てビールで乾杯した。北穂高岳を初め涸沢カールや穂高連峰を見ながら山の話等を行い夕食の時間まで過ごしました。夕食は 5 時からだが、10 分前から列に並び 5 時から食べることができました。19 時頃には寝床に着きました。

#### ◆8/12

4 時前に目が覚めました。5 時から朝食で 6 時には予定通り出発しました。下山開始直後から雪渓がありましたが、特別滑ることもないのでアイゼンを着けることなく下りました。本谷橋で休憩しましたが、岩の上に掛けた木製の橋が増えていました。以前からある鉄の吊り橋が使用できないのかと思いましたが健在でした。登ってくる人たちは子供連れのファミリーが目立ちました。横尾には予定通り到着。誰かがぐるっと一周したんだねと言っていました。ここまでくると下界に下りた状態になり、急に暑くなってきました。ここからはハイペースで下り(ほぼ平坦)、徳沢で名物のソフトクリームを食べ、明神ではカレーやそばで昼食にしました。上高地に着くと意外やタクシーが待っている状態。運転手の話では、今年は富士山に人を取られ上高地は例年になく人が少ないとのこと。沢渡では梓駐車場から近くの梓湖畔の湯まで歩いて行った。温泉を 13:45 と 1 時間以上早く出発した。途中双葉 SA に寄った。その後、渋滞が始まり鳶尾には 18:45 到着しました。

今回は天気とメンバーに恵まれスリルのある思い出深い山行となりました。ありがとうございました。